

全国女性団体 連絡協議会 (旧婦人会)

いま、**かがやいて活動している
女性たち**
ぐっとアップ!

2024
1

NO.564

編集・発行 全国女性団体連絡協議会 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-17-14
電話 03-3407-4303(代) http://www.chifuren.gr.jp
共催:全国女性会館

プロジェクトの趣旨に賛同し、野菜の消費拡大に取り組みます。

野菜を食べようプロジェクト

検索



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



食品ロス削減国民運動のロゴマーク

「ろすのん」



NO-FOODLOSS PROJECT
私達はこの運動を推進します!

アースエコ



プラスチック資源の削減、リサイクルの促進でCO²排出を減らし、地球環境保全に努めます。



竜の如く「飛躍」する年に!

全国女性団体連絡協議会
会長 櫻井よう子

皆様、明けましておめでとうございます。今年が皆様にとって良い年になることを心から祈念いたします。

さて今年も辰年ですが、十二支の中で唯一架空の生き物が干支になっています。中国から伝わり、辰は大変に縁起の良い生き物であり、権力の象徴でもあるようです。「竜門」という言葉があるように「竜門」は中国黄河の中流にある急流で、ここをさかのぼることのできる鯉は竜になるといいます。立身出世の関門を突破

することのたとえですが、私たち女性会も今年も竜門を突破する鯉の如く力強く飛躍していきましょう。

ウィズコロナの時代

昨年5月に新型コロナウイルスが5類に移行して以来、今まで規制されていた対面での催しが全国各地で再開されるようになりました。私も各地に招かれ、たくさんお話させていただきました。どこの地域でも、この時を待っていたかのように、参加者の顔が明るく朗らかに見えました。

3年間の我慢を強いられた後ということもありますが、オンライン会議やメール等でのやりとりよりも、相対することには、より多くの情報が伝わることを感じました。会場の皆様の拍手や笑い声、歓声を聞くことも私もつい力が入ってしまい、ちょっと話しすぎたかもしれません。

いずれにしても、ほぼ制約の無いコロナ前に戻りましたので、今年はいよいよ一層、多くの人たちに参加してもらえ、催しが可能になっていくと思います。山裾の裾野が広がれば広がるほど、新しい人やグループ、企業などとの出会う確率が高まります。そうした出会いから女性会の新規会員や協力者、協力団体を増やしていければ、女性会が無くなることはありません。今年も昨年の催しの倍の人数を参加者に迎えられるよう、全国各地の女性会の皆様には頑張っていたいただきたいと思っています。

**参加者を
楽しませたい気持ち
を体現**

多くの人を集めるためには「楽しい」ことが重要です。昨年11月に神奈川県横浜市で開催した全国大会では、神奈川県知事が見事に参加者を「楽しませたい気持ち」を体現してくださいました。

舞台上に立った黒岩知事は「会の冒頭から笑いの絶えない女性会、素晴らしいです!これこそが女性のパワーですね!」と称賛してくださった後、マイクを持っておもむろに舞台を左

右に歩き出し、来場者の一人ひとりに笑顔を見ながら、素晴らしいパフォーマンスをしてくださりました。どんなパフォーマンスだったかは、全国の参加者の皆さんに聞いていただければ分かると思います。参加者の心に響く、素晴らしい祝辞をいただきました。最後には会場中に響き渡る、割れんばかりの拍手が鳴り止みませんでした。

多くの会議・大会に出席してきましたが、これほど盛り上がりがあった来賓祝辞は今までにありません。黒岩知事のおもてなしの心、参加者を楽しませたい気持ち、何より女性たちに対する熱い思いが溢れる祝辞でした。

1000人を集める催しを

12月21日、22日に今年度2回目の理事會を渋谷で開催しました。その中で出た議案で、防災セミナーをはじめとする各種セミナーについては、いつも同じ顔ぶれで開催してそこからの広がりが無ければ、社会教育団体としての意義が無いと話しました。特に防災については、いつどこで発生するかわからない災害に、どう対応していくかを学ぶ場であり、いつもセミナーを聞いている私たちよりも、普段防災学習をしていない一般の住民市民にこそ必要なものです。初めは100人のセミナーでも、参加者が次の年に1人新しい友達を連れてきてくれたらば200人に、さらに翌年には400人と増えていきます。2023年度の防災セミナー参加者は全国で約3700人でしたが、数年で50000人にする事ができます。そうして社会に必要な情報を広げていくことが、私たち社会教育団体の役目です。今年も去年の倍の人数を目標に、そして全国各地で10000人規模の催しができる団体へと成長していきましょう。催しの中には必ず「楽しい」要素を入れることを忘れずに!

令和5年度 全国女性団体連絡協議会近畿ブロック会議

10月25、26日の2日間に渡り、神戸ポートピアホテルで全国女性団体連絡協議会近畿ブロック会議を開催しました。ブロック内から約230名が参加しました。



兵庫県知事 齋藤元彦氏の来賓挨拶(一部抜粋)

近畿ブロック会議のご盛会おめでとうございます。丹波栗、松葉蟹、神戸ビーフ、牡蠣、純米大吟醸など豊かな食にあふれた兵庫です。ぜひお楽しみください。大阪、関西万博が開催される2025年は、阪神・淡路大震災から30年の節目。大震災の記憶がない若い人も増えているので、経験と教訓を継承し、災害にそなえることが大切です。SDGsの実現、ヤングケアラーのサポート、様々な機会に皆さんの知恵や経験で子どもたちを導いていただければと思います。よろしくお願ひします。



基調講演より一部抜粋 「災害にそなえる」いのちと暮らしを守るためのヒント」木村玲欧 兵庫県立大学環境人間学部・大学院環境人間学専攻教授

自然が変わった今、私たち自身も変わらなければなりません。まずは備えです。地震の際は自宅内では足を守るスリッパ、助けを呼ぶ笛、頭を守るヘルメットなどを備えること。非常持ち出し袋は持ち出しやすいところに、必要なものだけ入れておくこと。食べ物や普段から食べるものを多めに買ってストックしておくといひです。缶詰が優れものです。口に合うものを見つけておくといひです。水は1日1リットル必要です。次に安全行動です。まず低く、頭を守り、動かない。緊急地震速報が流れたら、自分が死なないために瞬時に行動しなくてはなりません。普段から練習することで、実際の時にできるように体が学習していきます。行動のパッケージ化を心がけましよう。



講演会より一部抜粋 「歌でつながるやさしさふわり」支援活動で学んだこと」石田 裕之 シンガー・防災士救急インストラクター

東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県石巻市は、兵庫県とパートナー都市になっています。今も石巻市に通っています。現地の言葉で「津波でんでんこ(でんでんバラバラ)」というのがありますが「個人でいひから、とにかく逃げて」率先して避難するのは単独でも薄情でもないといひです。避難所で歌う提案を受け、避難者と一緒にリクエストを歌うことにしました。大変に盛り上がった後に避難者から「芸能人はたくさん来たけど、私たちに歌わせてくれた人は初めて。今日ひは声を出して歌って心が晴れた」との声を聞き、支援やボランティアはしてあげるではなくて、被災者の望み、心のリクエストを聞いて背中をちよつとだけ押すことと思ひました。「元気になる歌を作った」のクエストに「やっぺす(一緒にやろうね石巻)」を作りました。家族や友達を大切に、地域の人と挨拶をしましよう。人と人とのつながりがこそが防災です。



創立70周年記念大会 第66回 岩手県地域婦人大会

いのちとくらしとふるさとをみんなで見守ろう ~共に学び 共に喜び 共に助け合える婦人大会女性会~

9月14日(木)盛岡市都南文化会館に741名が集い、県知事をはじめ県教育長、盛岡市長、教育委員会他団体等ご臨席のもと開催しました。



主催者挨拶 岩手県協及川子会長

1953年県内57の市町村婦人会が合流し、岩手県地域婦人団体協議会を結成し70年。2003年NPO法人を認証され20年。地域を豊かにし、貢献する活動を展開された先輩諸姉のご活躍の足跡を継承していく団体として、会員同士互いに手を取り合い思いやりの心を持ち、100年づく婦人会・女性会を目指すための大会を開催。



会場は歌声に魅了されました

全日本合唱コンクール全国大会では金賞受賞常連校、県立不来方高等学校音楽部「日本の歌声」でオープニング。

式典では、9名の先輩諸姉に感謝状を贈呈できました。

全女連櫻井よう子会長の記念講演では「百年つづく婦人会のために~若い世代に繋いでいく~」は、ユーモラスな語り口調で「伝統を受け継ぎ守り抜くためには、自ら変化することの必要性と、一層の連携を強めること。広く地球を眺め、足元から地域を見つめ、適切な行動をとる」強いメッセージを受け取りました。会場と笑い有り握手、記念写真撮影有りの問答をまじえた講演は、新幹線時刻を気にしながら2時間におよびました。



盛り上がる会場

笑顔のおふたりに拍手喝采

記念講演 全女連櫻井よう子会長

10年後、20年後と会員同士が手を取り合い時を刻み、100年続く婦人会を目指します。



大会宣言 後藤夕香里 副会長

来年は8/2花巻市で開催



第70回 山形県婦人大会

9月6日(水)に、山形県生涯学習センターで第70回 山形県婦人大会を開催しました。「心豊かに明るい地域社会を目指して」をテーマに、約150名が参加しました。

山形県警察本部のご協力による「特殊詐欺の現状と被害防止対策について」の講演では、日常生活で特殊詐欺被害にあわないために、私たちが気をつけなければならないポイントを分かりやすく教えていただきました。

櫻井会長の講演では、「人生は1回だけ。思いっきり楽しまなければなりません。だからこそ、このような場に出てきてみんなと笑ったりしないといひけない。そして今、社会問題になっている特殊詐欺を知り、当事者にならないことが大切です。日本の女性は賢い国家財産なので大丈夫。共に社会教育団体として頑張っていましよう!」と力強いエールをいただきました。



厳かな雰囲気で行った開会行事



山形県警による講演



櫻井会長に謝辞を述べる 五十嵐雪子山形県会長



山形大学の学生の皆様によるミニコンサート

安全、安心、元気な地域づくりに期待されるのは女性パワーです。「今こそ婦人会」男女共同参画社会の推進、他団体との連携を深め、ネットワークを活用しながら、女性の視点で行動し、積極的に実践活動を進めていくことが必要です。社会環境の変化に伴い価値観やニーズ等多様化していますが、これまでに培った絆を忘れず優しい心「和」を大切に楽しく地域に根ざした活動を進めていきます。

令和5年度青森県地域婦人団体研修大会



県内各地より会員200名が出席



来賓挨拶 青森県生活環境部 部長 館栄様

主催者挨拶 青森県 会長 外崎れい子

主催者挨拶 全国女性団体連絡協議会 会長 櫻井よう子

9月5日(火)午後12時30分より、青森市アピオおおもりにて、青森県地域婦人団体連合会研修大会を会員200名が出席して開催。婦人会をどのようにしたら継続していくのか、喫緊の課題として「これからの組織の在り方について」と題して全女会櫻井よう子会長を講師に迎えての講演。

開口一番、「外崎会長は服装が地味です、リーダーは目立たなければいけい、会長がどこにいてもすぐわかるような服装がいい」から始まり、人を集めることのできるのが団体の力である。会員外の方にも声をかけ参加者全員が楽しかった、次も参加したいと思うような企画を。ただ学習するだけの団体ではなく、自分のためにもなり、楽しい女性団体でなければいけい、楽しければ人は集まる。「人を思う気持ちと、愛情をもって“魅力ある婦人会・女性会”を目指して全国各地を訪問している櫻井会長のパワーと櫻井会長節全開に脱帽。



講師 全国女性団体連絡協議会 櫻井よう子会長



福田こうへい特別公演

2024年 3月8日(金)~3月31日(日) 【出演者】福田こうへい、桜木健一、ほか 【開演時間】 昼の部12時/夜の部17時 【定価料金(税込)】 S席(1階席・2階席正面) 12,500円 会員様 特別価格(税込) S席 11,250円

メイジ・ザ・キャッツアイ

2024年 2月6日(火)~3月3日(日) 【出演者】藤原紀香、剛力彩芽、高島礼子、ほか 【開演時間】昼の部12時/夜の部17時 【定価料金(税込)】 S席(1階席・2階席正面) 13,000円 会員様 特別価格(税込) S席 11,700円



明総座

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 受付時間 平日9:00~17:00 【フリーダイヤル】 0120-64-3800 ※混雑状況によっては、御希望の日程でお席をご用意出来ない場合もございますので予めご了承ください。

「第75回九州地区地域婦人大会」を終えて

鹿児島県地域女性団体連絡協議会会長 大迫茂子

去る11月15日・16日の両日、「第75回九州地区地域婦人大会」全国女性団体連絡協議会九州ブロック会議が鹿児島市の城山ホテル鹿児島で開催され、九州各地から会員500人余りが参加して、賑やかにそして肅々と開催されました。8年に一度輪番で回ってくるこの大会ですが、今年鹿児島県は役員改選で会長を始めとして、役員ほとんどが入れ替わり、事務局も一新して、携わる全員が若葉マーク、どうなることか、不安だけの船出でした。しかし、そのような不安と緊張の中、皆の結束力を取り掛かり試行錯誤で毎日経過し、当日を何とか迎える事が出来ました。これもひとえに会員の皆さまのご協力の賜物と感謝しています。また、不慣れな役員・事務局にたくさんの指導・助言を下さった県教育委員会社会教育課の御恩を忘れることはできません。一番暑い7月・8月にお土産用のタオルで作ったお手拭き作り・また大島紬のブローチ制作と本当に会員の一人一人が協力してくれました。いよいよ本番を迎え前日の14日から全女連の櫻井会長をはじめ、九州各県の会長を迎え前日から一気に緊張感に包まれました。

15日は午前中に各分科会の打ち合わせをする中、実行委員は受付や案内の準備をしました。とにかく広すぎるホテルを走り回りました。開会式では櫻井会長の力強いごあいさつをいただき、参加者一同感銘を受けました。講演は「明治維新と西郷隆盛」と題して西郷南洲顕彰館徳永和喜館長からお話を伺い、郷土の偉人の偉大さには心響きました。その後分科会に分かれ、それぞれの分科会で問題提起者から自分たちの活動の発表があり、どの会場でも熱心な討議がなされ、熱いこともった意見交換が出来たのではないかと自負しております。

第一分科会「組織」の問題ではいちき串木野市が発表し、「持続可能な女性連活動を通して絆を深め、組織の拡大につなげよう」ということをできる人ができる時にやろうとをサブタイトルに掲げ、市女性連活動をひもどく中で第13代県女性連会長南ツギエさんの偉大さを語り、リーダーを大事にして会員全員でリーダーを育てる事が大事であることを学びました。第二分科会「教育」の問題では日置市の取り組んでいる「赤ちゃんと楽しむブックスタートが子どもの未来を紡ぐ第一歩」として、子どもの時からの読み聞かせがいかにたいせつであるかを再認識しました。第三分科「環境」の問題では「再建の鍵は土と水」と題し、指宿市女性連とマイエンザについて作り方やその効果について話され会場から自分たちもさそく作ってみたいとの意見がありました。どの分科会も実のある会だったし、参加者が満足のいく会だったのではと感じています。

その夜の交歓会も、九州各県からそれぞれ、歌や踊りが披露され、コロナ禍で出来なかった分、盛り上がり、鹿児島県塩田康一知事と櫻井会長が、おはら節や奄美の六調に参加して下さい、盛り上げていただきました。二日目はシンポジウム・全体会とすすみ、大会宣言・決議がなされ、来年の佐賀県での再会を約束し、幕を閉じました。

若葉マークでスタートしましたが、いまはやり遂げた達成感と自信も少しつきました。この大会で多くの事を学び、たくさんの方々との出会いに心からお礼と感謝をもうしあげます。



山口県連合婦人会70周年記念大会



山口県連合婦人会70周年記念大会が、令和5年11月8日、山口市の県総合保健会館で開催された。「学ぼうつながろう 広げよう 次世代へ」をテーマに会員520人が集い、活動継続への決意を新たにしました。

記念式典では藤家会長が、これまで肅々と先輩方の繋いでこられた活動に感謝し、70周年の大きな節目からまた一歩進んでいきたいと述べた。

その後、全女会櫻井会長の力強い講話をいただき、午後はフリーアナウンサーの山本哲也氏の心あたたまる講演で心癒され、その後ソプラノ磯部マキ氏の歌に会場が酔いしれた。

会場ロビーでは、これまでの婦人会活動を紹介するパネル展示や複十字シールパネル展示、国内国外災害救援のバザー等で賑わい、記念にふさわしい華やかな大会となった。



第74回福島県女性大会・第18回二本松婦人大会



令和5年10月17日(火)に二本松市民会館にて開催しました。県内より会員約120名が参加しました。

県婦連からの活動報告、「令和5年度北方領土視青少年等現地視察事業の報告」を北方領土返還要求運動福島県民会議の増子恵二事務局長と前福島県婦人団体連合会小林清美会長から述べて頂きました。



増子恵二事務局長 小林清美前会長による報告

テーマでもある～若い力で北方領土返還の輪を広げ、綱ごう～について福島県内の青少年らとともに現地に向き3泊4日の研修事業について話しました。

『返還要求運動の輪を次代を担う若い世代への継承を私たち婦人は平和的手段で解決を目指す、地域・家庭・職場に運動の輪を広げ引き継ぐ使命を背負っています。県内小・中・高校からの青少年派遣団が現地を視察し、納沙布岬から歯舞諸島を望み、現地の方のお話を聞き感じたことを自分の目で見、身体で感じる、周囲の人たちに伝えることを自らが解決していかなければならない大切さを学んだと思います。会津藩が幕府の命令により北方領土の警備につき深い関係を築いた歴史もあります。険しい北方領土問題の解決には若い人の知恵が必要であることを感じ、参加した青少年派遣団員、引率者はここで知り得た仲間とともに研修の輪を広げながら北方領土返還要求運動の意義について学んだことを活動に活かしていきたいと思っています。』

参加者からは自分の中で北方領土について改めて理解を得ることが出来たという声も聞かれました。

アトラクションでは若さ溢れる大橋姉弟が舞踊と歌唱を披露し会場は大盛況の中、閉会を迎えました。有意義な時間を過ごせたことを感謝いたします。



新潟県民のつどい

10月1日(日)に朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンターで「新潟県民のつどい」が開催され、新潟県内外の婦人会会員・一般・関係者460名が参加しました。

新潟県知事のメッセージから始まり、新潟県警察本部の「特殊詐欺防止」講話、日本LPガス団体協議会、全国LPガス協会の「カーボンニュートラルへの貢献 高効率機器の導入補助金について」の説明、全国女性団体連絡協議会 櫻井会長の講話へと続き、後半はゲスト2名の登場。渡辺えりさんのトークは和やかな雰囲気の中、笑いが絶えず、石原詢子さんのコンサートは会場が一体となり大変盛り上がりました。

参加者からは、とても楽しく有意義だったとの声をたくさんいただきました。



新潟県警察本部様 とも分かりやすいと好評。不審な電話は警察に連絡を。 LPガス様 災害時に活躍。 欠くことの出来ない燃料。



櫻井会長 パワフルで元気をいただける。 私達も頑張らないと。 渡辺えり様 嫌味のない笑いの中、平和を 求める必要性を強調。



石原詢子様 歌もMCも上手く、 一気にファンになる方続出。

Advertisement for the anime 'Etopirika ~Imagined by Birds~' set in the Northern Territories. It features a character with a dog and a QR code for more information.

Advertisement for the Northern Territories Policy Association. It features a QR code and text about the historical context of the Northern Territories and the association's role.

晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。



2024



岩手県



人と人をつなぐ 笑顔の対話 岩手県会長 及川 公子

岩手県婦協が結成されて70年、特定非営利活動法人を認証され20年。節目の年に大勢の皆さんが集まり記念大会を開催出来ました。みんなで手を取り合い思いやりの心を持ち、100年続く婦人会を目指し、仲良く活動していきましょう。

青森県



心豊かに 青森県会長 外崎 れい子

社会の急激な変化が進む中で、近年、人に対する優しさや、思いやりの心が薄れてきているように思います。婦人会、女性会の理念である「心豊かな他人を思いやる心」を大切に活動したい。これまで、会員の減少や高齢化をマイナス思考に捉えておりましたが、プラス思考にかえて、今年の干支(龍)は縁起の良い動物(架空の動物ではありません)と言われているので、天高く昇る龍の如く活力旺盛に、心に余裕をもって、できる時にできる事を、新しい年が良い年である事を願っています。

北海道



令和6年の新春に 北海道会長 柿崎 多佳子

昭和32年、先輩たちの英知と行動で住み良い社会づくりを目指し設立された道女連は、時代の変化と共に歩み続け67年、人と人の結びつきの大切さを改めて感じます。広い北海道、地域と地域の遠さも別格です。コロナウイルス感染症で沈んだ年月も取り戻して行かなければなりません。今、私たちに出来ることを見つけ学び、考え、楽しく集う、笑顔で仲間を増やすことを目的に社会の発展に尽くす女性団体を目指して参ります。

北海道・東北ブロック



福島県



元気で明るい会に! 福島県会長 大場 盛子

新年を迎え、三ご挨拶を申し上げます。昨年中は皆様方のご協力に感謝申し上げます。婦人会も七十年の歴史を重ね、今年も地域社会の発展に努力しなければと考えます。しかし、現在少子高齢化や若しい人口の減少、更には人々の多様化により会員の減少が顕著な状況にあり、若く世代の加入を少しでも増員出来る様に、共に考えていきたいと思います。又、県地域婦人会事業に多く参加し多くの意見を取りあげ進めたいと思っております。その為には会員皆様が健康でなければなりません。元気で明るい会に今年もよろしくお願いたします。

山形県



笑顔で交流を楽しもう 山形県会長 五十嵐 雪子

コロナ禍を乗り越えようやく3年前のように地域活動が出来なくなった今、新たな課題解決に向けて、共に学び合いながら会員同士の連携を大切に、会の活性化、生き生きとした明るい社会、心豊かで住みやすい地域づくりのために、元気で楽しい活動、笑顔で楽しい交流を深めていきたいと思います。また、これからは女性ならではの視点や心遣いを活かして地域への貢献に取り組んで参ります。

秋田県



コロナ禍を超えて 秋田県会長 小玉 喜久子

新型コロナ感染症が第5類に移行して、日常に戻ったのも束の間、7月は県内記録的大雨で、秋田市中部が浸水。甚大な災害となりました。8・9月は猛暑、月の平均気温を更新しました。10月は熊の目撃が続く、人身被害もあり、熊の出没注意報が出、これは高温少雨で山の木の实が不作。餌を求めて人里にまで行動範囲を広げているのと、至て地球温暖化が影響。脱炭素化と防災意識を高める活動を、更に目指したいと思っております。

宮城県



認め合い、協力し合い 婦人会パワーで明るい社会を 宮城県会長 鈴木 玲子

令和5年は、コロナ感染症の余波を感じつつの事業展開でしたが、北海道・東北ブロック研究大会や県内ブロック別研修会等多くの事業を開催することができました。会員の方々の懸命な取り組みによるものですが、改めて婦人会員のパワーに感心させられました。令和6年も、お互いを認め合い、協力し合って、皆の笑顔輝く婦人会を目標に進んで参ります。県内各地で笑顔とパワー溢れる活動を進めてまいります。

群馬県



時代に対応 群馬県会長 大竹 恵子

急激な人口減少、社会環境の変化に伴い、会員の減少、行事参加への中止等、婦人会活動にも影響が出ています。長年取り組んできた、青少年健全育成事業、男女共同参画推進事業、地域防災、また近年より始めたSDGs関連事業を継続しつつ、一人でも多くの方に加入していただくことを心がけ、時代に対応した活動を考えていきたいと思います。今年も関東ブロック会議の当番県です。お世話になります。皆様のお越しをお待ちしています。

栃木県



2024年の新春に寄せて 栃木県会長 寺山 厚子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年より栃木県の会長を務めております。県プロ大会や全国会議への出席を通じ、講師の先生方や全国の女性会の諸先輩方と共に学び交流を重ねることで、刺激的でパワフルな一年を過ごしました。今年も、地域の人々との繋がりを二層深めることで、会の活性化を図り、「笑顔あふれる人生百年時代を実現する年」にしたいと決意しております。どうぞよろしくお願申し上げます。

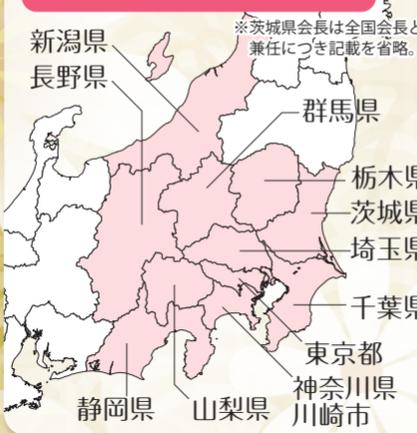
新潟県



次世代へ繋ぐ 安心安全な人と人を繋ぐ 社会を目指して 新潟県理事長 外石 栄子

コロナが5類となり、社会生活も正常に戻りつつある中で、私達は平和な活動を目指し心と心の絆を大切に人と人を繋ぎ、今出来ることを各会員同士で考え前に進み、一歩ずつ地域の女性会を発展させていきたいと思います。世界に目を向ければ、いまだに紛争があり、悲しい社会だと感じますが、私達は目の前の課題解決に取り組み、次世代に明るい未来を渡すことを心がけ、今年も活動したいと思っております。

関東ブロック



神奈川県



全国の絆を力に変えて 神奈川県会長 石川 壽々子

「第71回全国地域女性団体研究大会」には、多くの皆様にご参加いただきありがとうございます。様々な制約があり、思うようにはいかない面もありましたが、ご参加の方々より温かい励ましの言葉をいただきました。改めまして、私どもの今後に向け大きな励みとなりました。改めて全国会員の大きな絆を再確認し、今後の活動の弾みとしていきたいと思います。

東京都



人生120時代になり どう生活 東京都会長 谷茂岡 正子

令和6年、新春を迎えられて感謝。生活様式の変化により、私達を取り巻く課題も複雑多様化しています。今年もしっかりと消費者意識を深め、安全・安心な地域づくりを努力し、正しい情報提供を連携していきましょう。

千葉県



繋ごう次世代へ! 千葉県会長 石橋 きみ江

コロナ禍の規制が緩和され、私たちの活動も以前に戻りつつあります。会員の高齢化、減少など問題が山積みです。「女性団体」となり幅広い人たちの加入も可能になりました。色んな講習会等機会を設けて、会員増に繋がれたらと切望しています。婦人会活動は行政、地域づくりに欠かせない存在です。先輩が築いた歴史を次世代にバトンタッチ出来るよう各地域一丸となって取り組みたいと思っております。まず健康、笑顔一層の絆を!

埼玉県



今年も笑顔で 元気に爽やかに! 埼玉県会長 柿沼 トミ子

ウクライナへのロシア侵攻に加え、イスラエルとハマスとの戦いも泥沼化し、世界中閉塞感に覆われております。さらに物価高、資源減少等、生活の不安も広がっています。このような時代こそ婦人会の地縁力が求められます。超少子高齢社会にあつて、世代を繋ぐ縦軸と地域という横軸を繋いでいく。SDGsの目標に沿った活動を推進させてまいります。行政や他団体とも連携を深めて、全国の皆様、今年も笑顔で元気に爽やかに。

全国の皆様、明けましておめでとうございます。本年が素

山梨県



「つながる」ことの大切さ
山梨県会長
高村 里子

今年七十三年目にして、七十周年記念式典を開催することが出来ました。併せて六十年からの十年分の記念誌も発行いたしました。先人が築かれた歴史と活動を継承出来たことに感謝いたしております。活動を続ける中で「つながる」ことの大切さすばらしさを実感することが出来、宝物が増えました。今後も地域・人と、幅広い分野でのつながりを、感謝の気持ちを忘れずに積極的に持ち続けていきたいと思えます。目指すべきは社会教育！

長野県



共生社会の実現
長野県会長
中條 智子

私たちはこれまで、物質的な豊かさや経済発展を優先してきた。しかしこれからは心の豊かさが求められている。それぞれが自分らしく輝ける本場に豊かな世界を作るには障害の有無、ジェンダー、民族、宗教、子ども、高齢者など、異なる立場の人たちと話し合い、尊重しあい、認め合って、自分らしく、助け合って生きられる社会の実現が、今、私たちに出来る、次世代へのプレゼント。

静岡県



継続の大切さ
静岡県会長
岩崎 康江

私たち静岡県地女連は設立77年目。地域において必要とされる女性の組織として活動を続け喜寿を迎えました。私たち女性ならではの、発想力と行動力で顔の見える地域に根差した活動の継続に努めてまいります。

川崎市



全国大会in神奈川に思う
川崎市会長
青木 恵美子

皆さま明けましておめでとうございます。昨年の全国大会は神奈川県で開催されまして、賑やかに実のある大会となりました。主催者側と致しまして感謝致しております。全女連の皆さまの意欲も感じ、今後の女性会の活動も揺るぎなきものと思えました。黒岩神奈川県知事も私たち女性の熱気に応え、今までになく盛り上がったことをご報告いたします。ありがとうございました。

中部ブロック



愛知県



新しい時代の地域づくり
愛知県会長
山田 久子

コロナ感染症も第5類となり、ほぼ日常が戻ってまいりました。SDGsの推進も各地域において順調に浸透しております。愛知では、今年度の活動事例発表大会の講演において、SDGsの5番「ジェンダー平等」を実現しようという目標が強く印象に残りました。人権や多様性について、ひとりでも多くの人が理解出来れば、世の中のいじめ・偏見がなくなると思っています。今年も楽しく勉強しながら、地域の皆様と共に活動していきます。

富山県



今こそ会員の声を力にして
富山県会長
岩田 繁子

今、日本の社会問題として私達を席巻している現象は、「少子高齢化、人口の減少」です。この現象は、地域力の低下を招き、連帯共助の精神の希薄化の原因になってしまっています。まさかの事態の力発揮不足の脆弱な地域に伝播していきません。皆さん一緒に婦人会の復活に声を大にして取り組んでみては如何でしょうか。目の前の小さなこと、一人一人ができることに取り組みましょう。女性の力で未来の地球を守りましょう。

石川県



強く、たくましく、あでやかに！
石川県会長
能木 由紀子

コロナ感染症が5類に移行し、令和5年度のこれまでの行事は、すべて通常のスタイルで、無事に終了し辰年の新春を迎えました。新年度は各市町村の婦人会・女性会の飛躍の年となるよう防災・減災・地球温暖化防止・特殊詐欺防止・昆布料理講習会など取り組みます。3月には石川県内すべてに北陸新幹線が開通します。加賀温泉郷へ是非お越しください。女性ならではのおもてなしで皆様をお迎えいたします。

福井県



つながりを大切に!!
福井県会長
田村 洋子

令和6年3月16日は長年の夢でありました「北陸新幹線 福井・敦賀開業」です。我福井県は地味ですが、幸福度日本一の素晴らしいことをアピールして、県民一丸となつてまいりましょう。皆さま、ぜひ、福井県にお越しください。近年、情報の数量・速度が一層増し、世界中どこにいてもつながる時代です。我々の団体もいち早く「情報の共有とアクション」を起こすことが必要だと考えます。地域と地域・人と人とのつながりを大切にしましょう。

岐阜県



変わりゆく社会に 対応出来るように
岐阜県会長
竹中 昌子

三年間続いたコロナ禍も収まりを見せ、社会生活はようやく落ち着きと活気を取り戻してきました。コロナ時代に得られた気づきを、変わりゆく世の中に合うよう、私たちの活動の歴史の中に生かし、残すべき良いところを見つけたと思います。わが町の魅力を活かして次世代に繋いでいきます。

近畿ブロック



大阪府



平和な年であります様に
大阪府会長
木村 眞知子

一昨までは新型コロナウイルスで、頭をなやませていたのが、昨年から、ウクライナの問題、ガザ地区の問題など、世界では紛争がたえません。また、環境問題、地球温暖化は、私たちの問題です。暑い暑い日々が続く、熱中症で救急搬送された人が多くありました。また、昨年はコロナ禍が5類になり、行動も開かれ、女性の為の防火防炎の講演会も行い、一人ひとりの知識と自助の大切さを教わりました。他「昆布料理講習会」や「バスツアー」も行い、他地区の方との交流も深められたと思えます。これからも会員交流を進めていきます。

兵庫県



思いやりの心をもって
兵庫県会長
友藤 富士子

私たちの生活様式を一変させたコロナも5類に移行し、コロナ前の生活に戻つつあります。新年を迎え、心新たに子育て支援を始め、地域活動に邁進してゆきたいと思えます。また昨年は、近畿ブロック会議・兵庫県婦人大会には、泉齋藤知事、櫻井会長さんを始め大勢のご参加をいただき盛大に開催することができました。心よりお礼と感謝を申し上げます。また、SDGsにつきましても昨年同様、活動を継続して実施してゆきたいと思えます。

滋賀県



女性会を楽しもう!
滋賀県会長
上村 照代

謹んで新春のお慶びを申し上げます。お正月の凧として清らかな空気感、前日から夜明けの朝のなんとも新鮮な空気が大好きです。さあ、今年も頑張ろう！大事な課題はいっぱい有って、楽しめないけれど続ければいいです。皆さん！女性会を楽しみましょう！そうです。「きょういっしょ」「きょうようよう」です。今日行く所があるねんと今日用があるねんが幾つになつてもとても大事です。いい友を作りましょう。今年も宜しくお願い申し上げます。

京都府



新年を迎えて
京都府会長
安井 美佐子

京都府連合婦人会にとつて、本年は全国の皆様をお迎えすること、全力を注いで準備を進めていこうです。京都らしさを肌で感じて頂くには、京都の歴史と文化を短い滞在時間にお伝えしようかと会員一同で模索しています。皆様で私たちが大変良い機会を頂いて、我が住む京都の良さや歴史や文化を学ぶことが出来ました。皆様のお越しを良い準備をしてお待ちしています。是非京都へお越しください。お会いできる日を楽しみにしています。

奈良県



今年の婦人会活動!!
奈良県会長
岡波 圭子

新しい年を迎え、またこれから二年いろいろなこと挑戦したいと思っておりますが、市町村によつて出来ない事もあります。今年は、それぞれ地元に出る行事を無理なく、楽しいと思つて誰もが参加出来る行事を前向きに、頑張つていこうかな？と思っております。どの様な結果になるかは分かりませんが、それも楽しみの一ひつとして続けていける婦人会に!!

和歌山県



笑顔とやさしさで前へ!!
和歌山県会長
宗 眞紀子

コロナウイルスが5類に移行され、私たちの婦人会活動も、それぞれの地域での取り組みもコロナ前のように戻りつつあります。今年も、多少お節介りであっても、私たちは、笑顔とやさしさを忘れずに、更に子どもたちとふれあい、また、若い方々と積極的に交流を進め、少しでも役に立ちたいと考えています。それが、地域社会での安心で安全な生活につながることを確信しております。

鳥取県



明るく楽しく元気に
鳥取県会長
平尾 節世

今年度も食品ロス削減を目的に「幼児を対象にした意識啓発活動」を続けていきます。各市町村で紙芝居や寸劇・クイズなどをして、次の時代を担う子どもたちに解りやすくSDGsの目標を伝えます。婦人会は地域づくりに大切な組織だと考えています。今年も会員の意見を尊重した事業を計画し、皆が元氣になり繋がりを深めていきたいと思います。

中国ブロック



全国の皆様、明けましておめでとうございます。
本年が素晴らしい一年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

山口県
心新たに
山口県会長 藤家 幸子
戦後再結成された山口県連合婦人会は、昨年設立七〇周年記念大会を盛大に開催することができました。

広島県
明るく笑顔あふれる
広島県女連に
広島県会長 弓場 美代
新型コロナウイルス感染症の影響により、活動等が制限された3年余り、その新型コロナウイルス感染症も令和5年5月8日より5類感染症に移行し、やっと、県女連、各市町において活気ある女性会活動を進めることができるようになりましたが、私たちも年々会員数が減少傾向にあり、高齢化も進んでおります。

岡山県
婦人会の強みは
地域のネットワークがある事！
岡山県会長 大西 泰子
子ども達の未来を考え、人と人が絆を深め共に支え合い、助け合う地域社会づくりのために、時代のニーズに合ったテーマを掲げて活動している由緒ある婦人協議会も就業婦人などの増加で、組織の存続が危惧されています。

島根県
仲良く辰のごとく
躍動する島根
島根県会長 浅津 知子
謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年の全女会中国ブロック島根県大会には多数の参加を賜わり、神在月の出雲大社正式参拝では婦人会の更なる発展を祈念する事ができ深謝申し上げます。新年を迎え、私達は地域間交流を強化し、会員皆が楽しく、仲良く手をつなぎ、環境や人権問題等種々の地球規模の課題に、辰の如く強力な婦人会パワーで邁進してまいります。皆様変わらぬご指導、ご鞭撻を宜しくお祈り申し上げます。

高知県
新年あけまして
おめでとうございます
高知県会長 山下 福恵
四国の南半分を占める高知県ですが、全国的に県民数が少ないながらも高知県連合婦人会が〇〇人の会員が日々活動を行っております。4年ぶりの開催となりましたスポーツ大会におきましても、競技の前後において警察並びに高知県知事をはじめ、来賓の皆様の前を堂々と行進する姿に感動しました。さらに1月後の婦人大会は通常よりもアトラクションを入れ、従来の婦人大会に復活しました。これのことと思えますと令和6年は力つよ、スタートをきることができました。

愛媛県
持続可能な人づくり
愛媛県会長 三好 康子
「持続可能な」という言葉を活動に取り組みようになり、愛媛県では、今までの活動に少しも新しいことを取り入れ、模索しながらも、時代に合った「持続可能な」活動が出来るように日々精進しております。

香川県
活動・交流はリアルが番
香川県会長 野田 法子
コロナの感染拡大に怯えた日の恐怖もさることながら、人と人との出会いを禁じた「ソーシャルディスタンス」は、人間から心を奪ったと言っても過言ではない。人との出会いは億劫がる心理まで出てきたことは副産物でした。

四国ブロック
香川県
愛媛県
徳島県
高知県
※徳島県は県の判断により掲載無し。

長崎県
会話で
コミュニケーションを
長崎県会長 兒玉 涼子
皆様、佳き初春をお迎えのことと存じます。会長職を引き継ぎ慌ただしい半年が過ぎましたが、多くの方々とお会いして沢山の経験とさせていただきます。

佐賀県
2024年
佐賀県は飛躍の年！
佐賀県会長 山口 七重
国民体育大会が名称を改め、国民スポーツ大会として初めての大会が10月に佐賀県各地で開催されます。11月の九州地区地域婦人大会・全女会九州ブロック会議も佐賀県が開催地です。全国各地、九州各地よりたくさんの方が佐賀県に集う熱気と活気にあふれる年です。佐賀さん、今年「辰は偉大な生き物。様々な霊力を持つと考えられてきました。婦人会も辰にあやかり、団結と飛躍を誓い、今年の大会を成功させることが最大の目標です。

福岡県
課題の把握・解決の年に
福岡県会長 木下 幸子
皆様あけましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症法上の位置づけが「5類」に移行し、ようやく婦人会活動も活気を取り戻した一年となりました。

九州ブロック
福岡県
佐賀県
長崎県
熊本県
大分県
宮崎県
鹿児島県
沖縄県

鹿児島県
地域のつながりを大切に
鹿児島県会長 大迫 茂子
新年のご挨拶を謹んで申し上げます。鹿児島県地域女性連では、昨年十一月十五日・十六日に「第七十五回九州地区地域婦人大会」を済ませ、ほつとしております。全体会や分科会を通じて学んだことを、これからの地域活動にどう生かしているかを模索しようと思っております。平成の大合併以降希薄化してきた地域活動にコロナ感染症が追い打ちをかけました。

宮崎県
地域づくりは人づくり
宮崎県会長 甲斐 恵子
コスモスの咲く西都原の台地に集い、これまで実施していた体育大会を2022年は野外でのウォーキング大会へ変更し実施しました。高い確率で発生すると想定される南海トラフに備え、防災啓発にもより一層努めてまいりたいと思っております。またまた新型コロナウイルス感染症もインフルエンザも気になるころではございますが、会員相互の交流を図りそれぞれの地域に合った活動を進めてまいります。

大分県
繋ぐ、繋がる
魅力ある活動を
大分県会長 水谷 トシエ
あけましておめでとうございます。私たちが取り巻く社会情勢が最近特に大きく変化しています。私たちの意識も活動も社会の変化にあつたものになっているか、若い会員の獲得への活力になっているか、新年にあたりみんなで意識を新しく考えたいと思っております。「婦人会っていいね」という声が聞ける地域活動を目指します。

熊本県
「熊本の心」とともに
熊本県会長 荒木 ミドリ
熊本県地域婦人会は「助け合い・励ましあい、志高く」という「熊本の心」を目標に掲げています。日常生活の中で心の在り方を表しており、お互いに相手を尊重し、協働・協和の相互扶助、志を高くの心をもつて主体的に生きていく精神を表しています。困難な時代だからこそ「熊本の心」を持って、明るく住みよい地域づくりを目指したいと思っております。ともに素晴らしい一年にいたしましょう！

能登半島地震で被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。
2024年1月1日に、能登半島地震が発生しました。東日本大震災以来の大津波警報が発せられ、地震によりご自宅などが損壊するなど、避難所生活を余儀なくされている被災者の皆さまも多いと思います。新しい年を迎えたその日にこのような震災が発生し、余震も続く中、被災者のお気持ちは察するに余りあります。全ての被災者の方々に心からお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々に対し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げます。
常日頃から防災セミナー等を開催し、防災に備えてきた私たちですが、自然の脅威には今更ながら驚かされます。しかし、今までの教訓を元に、私たちができる支援をすることは、団体の力の見せ所であり使命です。新たに能登半島地震被災者支援の義援金を募りたいと考えます。
「一人は万人のために、万人は一人のために」の精神を持ってご協力をお願いいたします。詳細は後日、改めてご案内いたします。

沖縄県
時代に応じた活動を
沖縄県会長 與那覇 信子
急速に進む社会情勢や価値観の変化及び技術の進歩に伴い、上部組織や下部組織の名称変更が進んでいる事に鑑み、社会人女性の立場で時代の要請に対応する為、令和5年4月より婦人連合会から女性連合会へ名称変更し活動を進めています。その中、某地域では20名の会員増との古報もあり、更なるステップアップを目指します。

第71回 全国女性団体研究大会 in 神奈川

テーマ “笑顔あふれる人生100歳時代”
「健康で心豊かな暮らしは地域文化を担う私たちの手で」

11月21日(火)みなとみらい地域のパシ
フィコ横浜会議センターにおいて、分科会、
11月22日(水) 神奈川県民ホールにて全大会
が開催され、県内外より約600名の会員、
関係者が参加しました。

第一分科会は「みんなで始めるSDGs—
エシカル消費を学ぼう—」公益財団法人消
費者支援センター理事・首席研究者 柿野
成美氏、第二分科会「人生100歳時代に向
けて神奈川県が推進する未病と3033運
動について」神奈川県健康財団保健師 西
村幸子氏・健康運動指導士 高垣茂子氏、
第三分科会「持続可能な未来をつくる」気候
変動時代の暮らしと地域」東海大学ス
チューデントアチーブメントセンター准教授
二ノ宮リム・さち氏、フィールドワーク(横浜
開港の歴史)横浜資料館・県立歴史博物館・
横浜ハンマーヘッド・赤レンガ
倉庫、に280名が参加
研修しました。



第一分科会 エシカル消費について講演を聞いた後、グループワークで日頃の生活での問題点などを話し合いました。



柿野成美氏



第三分科会 気候変動がもたらす気温上昇についてクイズ形式で楽しく学びました。



二ノ宮リム・さち氏



第二分科会 後半は替え歌を歌い声を出す健康法に挑戦しました。



西村幸子氏



高垣茂子氏

第四分科会



横浜国立歴史博物館



港



ワラ物質記念碑



赤レンガ倉庫



力強いメッセージの書



ダウン症の金澤翔子氏による揮毫

全大会は、主催者櫻井よう子会長により、女性・婦人会の社会的役割とこれらについて熱くアピールされました。内閣府・文科科学省・黒岩祐治神奈川県知事・川崎市市長(代理)の来賓あいさつに続き、記念講演は「ダウン症の娘と生きて」と題して、始めに日本福祉大学客員准教授・書道家の金澤翔子氏による揮毫は、息をのむような静寂な会場。参加者が見守る中「飛翔」と掲げられた書は、これからの女性会・婦人会に向けられたメッセージだと受け止めました。続いて日本福祉大学客員教授 金澤泰子氏の講演では感動と子育ての重要性を再認識しました。さらに、音楽、特にマイケルジャクソンのダンスが得意な翔子さんによるパフォーマンスには、会場は大いに盛り上がりました。
県内外の参加者を迎え、全国会員と交流できましたことは神奈川県婦連活動への弾みとなることを期待し、参加者の皆様に感謝申し上げます。



マイケルジャクソンの曲でダンスを披露



金澤翔子氏の母 金澤泰子氏の講演



日本LPガス団体協議会様よりデリバリーステーションを3台寄贈いただきました



主催者挨拶 神奈川県地域婦人団体連絡協議会 会長 石川 壽々子



会場には多くの参加者

見つめています。
未来の豊かな生活環境。
looking toward a future.

食品ロスを無くそう!

関東商事グループ
代表取締役 櫻井よう子

株式会社 土浦関東商事
関東商事株式会社 有限会社総合整備 株式会社 つくばESSA

STOP! コンロ火災 **あなたも経験者? ヒヤリ経験要注意!!**



天ぷら油火災など、ガスコンロ火災の多くが、使用者の不注意によるもの。ヒヤリは危険信号。古いガスコンロをご使用の方は、安全機能の高まった**Siセンサーコンロ**への「**安心替え**」がオススメ!

ヒヤリ事例集 配布中

ガスコンロ ヒヤリ 検索

<https://www.jgka.or.jp/>

一般社団法人 **日本ガス石油機器工業会**

絶賛発売中!

おつまみ・おやつに!
ござかなちゃん



高たんぱく

カルシウムたっぷり!

株式会社ヤマノホールディングス
お問合せ 03-3378-2952

謹んで新春のお慶びを申し上げます。旧年中は大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

全国女性団体連絡協議会
事務局一同



ビルメンテナンスならなんでもご相談ください!!

株式会社つくばESSA エッサ

☎029-836-3636

- 日常清掃
- 定期清掃
- 一般清掃業務全般
- 設備点検
- 給排水衛生
- 一般建物管理全般



HOKKAIDO HABOMAI 北海道産昆布

全国女性団体連絡協議会公認昆布

歯舞早煮昆布

皆さまがえています

歯舞早煮昆布は、全女会が北方領土返還運動の一環として、北方領土で採れた貝殻島産神前昆布を歯舞漁協で袋詰めしたものを全女会公認昆布として取扱いしております。

歯舞早煮昆布のご愛用 地域女性会の活動資金源



歯舞早煮昆布 200g巻タイプ

歯舞早煮昆布 200g切タイプ

★歯舞漁業協同組合

不動産公正取引協議会は不動産広告の適正化を推進しています

理想の住まいと出会うために不動産広告はしっかりと確認しましょう

全国で約13万社の不動産会社が公正競争規約に参加しており、会員の店頭には、このマーク(首都圏の場合)が掲示されております。

公正表示

公益社団法人 首都圏不動産公正取引協議会
TEL:03-3261-3811 <http://www.sfkoutori.or.jp>



正しく使おう、安心安全なLPガス。

Life Power LPガス。

ライフパワー

安心して使うLPガス

LPガス安全委員会

<http://www.lpg.or.jp/>



ガス漏れは見えぬからこそ 警報器

しっかり見守ります!

交換期限の年 20XX年

ガス警報器 ■CO警報器 ■住宅用火災・CO警報器 ■住宅用火災・ガス・CO警報器 ■業務用換気警報器

警報器の交換期限は5年です。

ガス警報器工業会 検索

ガス警報器工業会 <http://www.gkk.gr.jp>



オフィススペース 空きあります。入居者募集!

JR・地下鉄銀座線渋谷駅 (宮益坂口から徒歩5分)

東急田園都市線・東横線渋谷駅・地下鉄半蔵門線・副都心線渋谷駅 (地下出口20aかB1から徒歩3分)



全国女性会館 〒150-0002 渋谷区渋谷1-17-14
TEL:03-3407-4301 FAX:03-3407-4305